

綿花の育て方

場所が重要

- ① 日光が大好きなので、日当たりがいい所
- ② ただし、15cm(双葉ではなく本葉が4枚出るくらいまで)になるくらいまでは、とても虫にとってはおいしいらしいので(ダンゴムシやナメクジ)地面に直接植えたり、プランターを直に地面に置くと食べられてしまう。

だから、種まきから本葉4枚になるころまでは、下がコンクリの場所で、近くに地面が無い場所などがいい。

この時点では、あまり日当たりが良くなくても大丈夫。私は昇降口の中などに置いて毎日観察しました。家ならば、ベランダがいいのでは？

- ③ 少し大きくなると、風が苦手。台風や大風などで、倒れてしまうので、台風などの時は昇降口に入れました。(7月や秋)

ずっと同じ場所に置いておくといろいろ問題が出てくるので、移動ができるプランターが便利です。

ふだんは、日当たりのいい場所に置いておくのがいい。

- ④ 80cmくらいの背の高さになってくると、ちょっとした風でも倒れてしまうので、支柱を建てるのがいいです。1本で大丈夫。

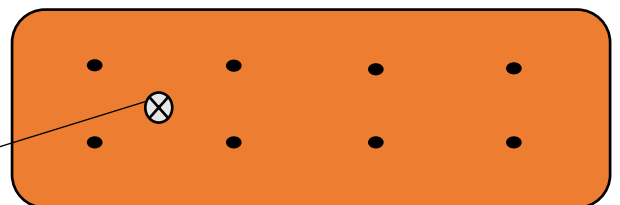
育てるのは、他の植物より時間がかかります。5月～11月くらいまで覚悟してください。

種まき・・・土はどんなものでもいいですが、肥料を、夏に少し足した方がいいです。

- ① プランターが育てやすいが、深めのプランターがあればそちらの方がいいです。
- ② 種は3日ほど水に浸しておく。ただし、水が腐ってくるので、水は毎日取り換える。そうすると、1個ぐらい根が出てきます。そうしたら蒔き時です。
- ③ 私が差し上げるのは、私が栽培した綿花の種ですので、すみませんが、発芽率はあまりよくありません。1/2くらいかな？1つのプランターに8個まいて、芽が出てこなかったところには、また、再度種を蒔いてみてください。種を蒔くのに最適なのは、4月～5月上旬ですが、6月頭までは、まだ大丈夫です。(去年は温室栽培に近い状態だったので、6月でも十分大丈夫でした。)戸外で育てる場合は、梅雨に入ると成長が悪くなるので(水が多すぎるのと少し梅雨寒で)その前に本葉まで行くといいです。1週間くらい待つて、出てこなければ、蒔いた場所のすぐ近くか対角線の場所に、また、蒔いてみてください。(私の栽培のせいで種の成長が悪くて、双葉が穴が開いていたりするのがありますが、本葉までとにかく出れば大丈夫です)
- ④ プランターに蒔きます。綿花の場合は移植がきかないので、蒔いて芽が出たら、そのまま収穫まで苗はいじりません。深さは指の第一関節くらいまで1cm未満位です。たっぷり水をやって、そのあと、毎日水をやる必要はありません。土が乾かない程度にして、芽が出るまで見守ります。

プランターの蒔く場所(上から見た図)

芽が出てこなかった場合ここなどに蒔くのもいい。



とにかくプランターを地面に置いたり、直植えする人は、虫に食べられるのも覚悟してください。* 私が栽培したのはアメリカ綿。和綿は背丈が低く、成長が小さく実も少ない。花は中心が濃い紫になります。

水やり

- ① 種まきから発芽までは、土をさわって、5cm下までがぬれている程度なら OK。
毎日やる必要はありません。
- ② 基本的に、土が乾いてくるようだったら水やりをする程度。
- ③ 夏になってくると、どんどん水を吸い上げます。7月下旬から8月・9月にかけては成長期なので、水を欲しがります。ただし、地面が乾いてきたりしたらやる。
綿花は乾燥地帯出身なので、水やりすぎはやめましょう。
夏の水やりは、1回でどのくらいかというと、プランターの下から水が出てきてプランターの下のお皿にたっぷりたまるくらいまでやりました。
- ④ 8月くらいになるとプランターの土の表面からの蒸発が多いので、私は草取りをしたあとの草の残骸を、綿花の根元に置いて、水やりを毎日学校に行けないので、3日ごとくらいにしていました。葉っぱがしおれてきてしまうと危機なので、水やりを怠ら
ずに。
- ⑤ 綿花がはじめてきたら、それほど水はやらなくても OK。

綿花カレンダー

- ① 種まき(4月下旬～5月下旬)
- ② 発芽～双葉～本葉(5月～6月上旬)
- ③ 成長期
- ④ 虫がつく時期……葉っぱを巻いて食べる虫が発生。

(殺虫剤禁止、そのわけは子どもたちがこれで糸を作るから。

有機栽培で行きましょう。)

葉っぱが切れているのを見つけたら、見つけて必ずつぶす。殺す。

- ⑤ 花が咲く(7月～8月)……花が咲いても、実にならず、落ちてしまうことも多い。

でも、大丈夫。ちゃんと日当たりが良ければ他の花が結実します。

花は朝はクリーム色、夕方にはピンクになり、次の日には濃い桃色になってしおれます。その色の変化を楽しんで。

- ⑥ 実になる(9月～10月)……緑色のコットンボールができる。
- ⑦ 実がはじけて綿花ができる(10月～11月)……はじけるまでが時間がかかる。

最後、1本の苗の実のいくつかははじけてしまったら、そのまま外に放置すると、雨にぬれて、実の真っ白い綿が地面に落ちてしまうこともあるので、引っこ抜いて、葉を取り、家の中に1本の苗ごと逆さにつるして、乾燥させてもいい。そうすると、はじけなかった緑色の実も十分大きくなってふくらんでいれば、はじけます。

①種を水につける



②プランターに蒔く



③双葉



④双葉の間隔



↓種の中での双葉が育ってない？失敗例↓周りに地面があるとナメクジやダンゴ虫に食べられ悲惨！



⑤成長期・・・もうこうなると、ダンゴ虫もナメクジも大丈夫。腰ぐらいの高さになってくる



⑥害虫発生期・・・初夏になると出てくるのがこのガの幼虫。葉っぱを切って中に入りこむので、葉っぱが巻いていたら、必ず葉を開いて幼虫をさがし、取って殺す。そのまま放置すると、綿花の苗が丸裸になってしまいます。隣の苗へと移り住み、どんどん丸裸に・・・。

この葉っぱ

幼虫が見つからなければフンを探して



- ⑦ 台風や大風の時、屋内の風の来ないところに入れましょう。風がおさまったらまた日の当たる所へ。夕方、台風の風が吹き始めた。 あわてて昇降口の中に入れたので大丈夫、この時まだ50cm位



⑧ 開花期

最初はクリーム色 屋過ぎにピンクがってくる 夕方にはうすピンク、次の日の夕方桃色



和綿の花の色はこういうふう



⑨ コットンボール期

緑色の綿実、下に落ちることもある。でも、大丈夫。割れ目ができてはじけて下にぶら下がる。1つの枝に4個ぐらい。



丸印の中がガク

このあと、ガクもカラカラになっていくが、そのまま放置しておくと、白い綿の部分が、雨に打たれたり、風で落ちたり飛んで行ってしまいますので、そのまま1個ずつ実を収穫して保存するか、木を引っっこ抜いて、逆さにして乾燥させて、木に成っているまま、保存させるのがいいです。私は、その際にも、枯れた葉やガクが、パリパリになりクズのようになって、白い綿にくっついてしまって取れなくなるので、写真の一番右の状態になったら、枯れた葉やガクは取ってしまいます。

⑩の写真の一番右側のようにしておく。綿実のみ残るようにしておくときれいなまま。

- ⑩ 番外編・・・2019年度は、校内のホールで育てました。温室代わりに温かく、風もなくて、大豊作。綿花には最適だったせいか、お化け綿花になってしまいました。2m以上。ふつうは1m程度

種まき↓

